

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人湘北福祉会やまのべ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援を行い、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)
施設概要	開館時間:午前9時30分から午後6時まで 休刊日:日曜日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:306日 施設延床面積:312.78㎡ 主な施設:1階 フリースペース、作業スペース、相談室、静養室、台所、ダイニング、浴室、脱衣室、事務室等 2階 管理スペース(和室)
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	3,537	3,776	3,758	2,784	3,151	2,911	
利用料金合計(円)	856,334	755,064	570,408	226,190	513,425	515,560	

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通所を休止した期間があったり、定期的に通所していた利用者が施設入所などで減ったことなどにより、前年度に比べ通所者数が減少し、目標値の達成に至らなかった。電話での相談件数は、減っているが、代わりにツールとしてメールやその他の相談件数は増加しているため、引き続き、利用者に必要な支援を行ってほしい。

指標	
指標名(単位)	利用者総数(単位:人) ※平成30年度まで:開所日1日当たりの平均利用人数 単位:人
指標式と指標の説明	施設に通所し日中活動等への参加や、障害者の不安を解消する総合相談事業の利用により、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、利用者総数(年間延べ通所者数+総合相談延べ人数)を成果指標とする。 ※平成30年度まで:年間延べ通所者数÷開所日数

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	17	17	5,000	5,100	5,200	5,300	5,400
実績値(人)	12	12	5,800	4,727	4,884	4,233	
達成度(%)	69.7%	71.8%	116.0%	92.7%	93.9%	79.9%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	事業計画等に基づき、相談支援事業及び地域活動支援センター事業を適正に実施している。特に当該地域の障害者支援の拠点施設として、週6日の開所を続け、食事提供やプログラム活動を行い、当事者の社会参加に貢献していることは評価できる。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
基本相談支援	通年	電話相談、面談相談、メール、同行・訪問、ケース連携 相談件数合計 1,322件	○
家族相談支援	通年	電話相談、面談相談等 合計26件	○
計画相談支援	通年	サービス利用支援及び継続サービス利用支援 相談件数合計172件 【指定相談支援(計画相談、地域移行、地域定着)】	○
地域相談支援	通年	地域移行支援及び地域定着 相談件数合計 上記の通り	○
訪問等相談支援	通年	訪問・同行支援 件数合計 26件	○
生活支援事業	通年	○食事提供 271回提供 延べ参加人数2,061名 ○プログラム活動等 延べ参加人数 799名 ○生産活動 請負作業、自主製品の製作販売 年間249日(就労継続支援B型事業所支援含) 延利用者数 1,639名	◎
地域交流事業	通年	地域住民や関係機関を対象とした講演会や研修会の開催、地域で活動する団体との連携等 ○ほのぼの100人運動会、地域イベント等 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○緑センターやまのべ祭り 規模を縮小して開催 来場者数90名 ○管理スペースの活用 (関係団体の活動場所の提供)	○
情報提供事業	通年	緑センターやまのべ便りの発行 月1回 ホームページでの情報提供 随時 関係機関からの催事、講演会等の情報掲示 随時	○
就労支援事業	通年	○就労相談 一般就労・福祉的就労に向けての支援 ○障害者雇用 清掃スタッフ、調理スタッフ、施設外就労へ向けての就労支援 (新型コロナウイルス感染防止のため一部休止)	○
交流できる場の提供	通年	○フリースペース 延べ参加人数 2,911名	○
ピアサポート	通年	新型コロナウイルス感染症の影響により休止 (ピアサポート養成研修、ピア活動、ピアセッション)	/

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	満足度の実績値が下がっており、C判定となってしまった。地域柄、施設へ車での時間・交通の便に満足していない方が多いようである。「来てやることがない」など、具体的な意見もあるので、アンケートの結果に留意し、工夫をしていってもらいたい。また、「職員の対応」「施設の開所時間」については、満足していると答えた人が半数ほどとなっているので、今後も利用者の満足度が高くなるよう、寄り添った支援を続けて欲しい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	令和5年3月末に登録者へアンケートを配布（郵送及び手渡し）／回答数35（配布数75）
目標値の基準	「全体を通して、当センターに満足していますか？」の問いに対する5段階評価のうち「大いに満足している」「満足している」「どちらともいえない」と回答した方の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	94.1	
実績値（%）	91.3	85.2	92.1	92.1	87.9	83.8	
達成度（%）	100.2%	92.9%	99.8%	99.1%	94.0%	89.1%	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
運営協議会	6月	地域の関係機関からの意見を幅広く聴取する場として開催。 今年度も、新型コロナウイルス感染の影響により中止
意見箱	通年	随時、利用者との面談にて意見、要望を聴取するが補完として意見箱を設置
利用者ミーティング	随時	作業終了時に行っているミーティングに職員が同席し、必要に応じて利用者より意見を聴取。また、運営側の対応に関する課題も取り上げている。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	<p>経営に占める指定管理事業の割合は高いが、4年連続で利益計上となり安定傾向にある。</p> <p>当期の売上高は、ほぼ前期と同じだが(131千円減)、経常費用(販売費・管理費)が若干の増加(759千円)となり、営業利益(経常利益)はやや圧縮されている。</p> <p>人件費が前年比15%、5百万円以上減少している。一時的なものか、今後の事業に支障が出る可能性がないか等について、注視していく必要がある。</p> <p>しかしながら、引き続き資金流動性は良好であり、自己資本比率も高く、経営上の特段の問題はない。</p>

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)	28,428	28,680	28,093
指定管理料	25,332	25,565	25,459
利用料金収入	226	513	516
生産活動収入	1,025	0	0
その他の収入	1,845	2,602	2,118
支出 (b)	24,903	27,181	27,418
人件費	18,776	21,013	20,223
本社管理経費	5,457	6,168	7,195
生産活動支出	670	0	0
その他の支出	0	0	0
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	3,525	1,499	675
自主事業収入 (d)	自主事業なし		
自主事業支出 (e)	自主事業なし		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	3,525	1,499	675
備考	生産活動の内、収入のある作業を就労継続支援B型事業所に移行したため、令和3年度より生産活動収入は無し		

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及びヒアリング
実施時期	令和5年2月14日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスの影響を引き続き受け、地域交流でもある「ほのぼの100人運動会」の実施はできなかった。しかし、規模を縮小し「緑センターやまのべ祭り」を4年振りに開催し、約90名ほどの地域住民や関係機関の方が来場された。また、自治会の協力により百歳体操をセンターにて毎週木曜日実施し、例年と変わった形での地域交流を持つことができています。

また、福祉事業所の利用や地域移行のサービス等利用計画の依頼も増加傾向にある。

## 10 所管課意見

新型コロナウイルスの影響で制限がある中でも、地域と良好な関係を築いてきた経過から、地域交流を継続して行えたことは、評価できる。また、計画相談支援の利用者が増加しているなど、相談支援のニーズもこれからますます高まることが考えられるので、今後も引き続き、地域の障害者支援の拠点としての役割を担って欲しい。

## 11 選考委員会意見

### 【評価した点】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中、地域と協力しながら、障害者の社会参加や理解促進のための地域交流を続けたこと。
- ・週6日の開所を継続し、食事提供を行うなど、利用者の生活リズムを整える支援を行ったこと。
- ・プログラム活動について、様々な活動を計画しており、施設の活性化につながっていること。

### 【今後期待する点等】

- ・立地の問題もあり、通所が困難な利用者や、潜在的な対象者がいると思うが、電話やメールを活用するなどして相談支援の充実をはかっていくこと。
- ・地域との交流・連携を続け、障害者の社会参加、理解促進に取り組むこと。
- ・安定的かつ創意工夫を持って地域の支援拠点として、より一層大きな役割を果たしていくこと。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(65/100)

